## 磯部 正信社長に聞く

社長・川嶋一義氏)を中心とした川島グル 社長・磯部正信氏)は、アルミニウムスラ 投資案件など経営戦略を聞いた。 れは前期(54億6千万円)に達成できた\_ 鉄総合商社・川嶋(本社・静岡県浜松市、 日標の一つに売上高50億円を掲げたが、そ ループ傘下に入り、来夏で丸10年を迎える。 - プ入りから9年余。 磯部社長は「川島グ グのトップメーカー。 2016年8月の非 い話す。 磯部社長に需要および業績動向。 日本圧延工業(本社・滋賀県東近江市、

毅俊

・純アルミスラグ、 生産品目は合金 売上高が前期比20%増 「25年7月期業績は なども利益を押し下げ

場経費や販管費など諸 収益悪化の要因は、工 増収の大きな要因は地 材〉) は同6%増の6 社では米Hazelett社の 経費上昇が響いた。当 改善に寄与した。半面、 た。販売数量増も業容 止まりが好材料となっ 金高で、原料価格の高 **古最高を更新した。** 

帯板連続鋳造機を使っ

利益が同28%減の2億 の54億6千万円、経営 6千万円。期中生産量 一全般的には精彩を 需要動向は。

既存需要家向け100 さすがに過去のピーク ブなものが多い。ただ、 者の情報も、ネガティ 欠いている。営業担当 ラグも昨春から堅調。

績の総括から。

工品。まず、前期

(25年7月期) の業

グ、冷間圧延アルミコ

(合金・純アルミスラ

イル、アルミ板<一般

業績予想は。 今期(26年7月

りし対応しているが、

ル、アルミ板(一般

伶間圧延アルミコイ

材)、インパクト加

並みの2億6千万円を 予想。経常利益は前期 2200万円を投じ、 売上高は51億円を 熱間・冷間圧延機の監 の分のコストが浮く。 視装置を設置する。設

は。 設備投資案件

約840平方
が)を新 かけて倉庫(敷地面積 設する。工事は8月下 | 約1億6千万円を ので、来春から本格的

備の振動を感知し警報 で通知するタイプのも いることが大きな特徴 であり利点。アルミ展 活用し、支援を受けて ープのネットワークを は、親会社・川島グル 平リサイクル事業で 挑戦している。この水 出量も非常に少ない。 生産性が高い。CO。排 ている」 なるCO2削減に努め ーナー導入など、さら 溶解炉へのリジェネバ て、加熱工程が少なく

かけて、トランスなどが58%(リサイクル材 では来期以降の3期をは、33年度(7月末) に活用する。これ以外 伸材での循環使用率

ソニック、日本圧延

春田産業、パナ

工業の3社では、ア

サイクル材使用 64% (同440 火)、24年度が 循環使用率・リ 0½)。川島グ 使用量3750 ループに参入し 量はともに右肩 た17年度以降、 ECOVC奨励賞を受 のほど、パナソニック セレンス社より25年度 オペレーショナルエク クルも手掛けてい ルミ材の水平リサイ 「春田産業さんはる

この倉庫新設によりそて、水平リサイクルに 特高受変電設備を総額上がりとなっている。 4億5千万円で更新す 製造方法はスラブ鋳造 ーの同業他社に先駆け 水平リサイクル なアルミ鋳造に比較し というライン。一般的 間圧延機2基を連結) 鋳造圧延法(溶解炉4 から直接製造する連続 基·米Hazelett社製帯 板連続鋳造機1基·熱 ではなく、アルミ溶湯 の重要な役割だと考え ドループリサイクル スクラップを原料とし 賞された。3社の取り て引き取る『クローズ い。納入先で発生した で、年間回収目標は40 組みは今年2月から は、環境に配慮したモ ノづくりであり、当社

## 24年度アルミ循環使用率64%に伸長

ているが、その消耗品 昨年春から続いてい く、若干の波はあるも 竣工を予定。倉庫は約 3・5だハードディス ディスクも中国市場で ①系スラグは、特需が時のような迫力はな旬に着工、今年12月の ク用6000系合金ス る。これは海外メーカ のの、需要動向は底堅 半分が加工品をストッ もう一つの特需である る。防犯カメラ用記憶 ドとして活用する。 現 識している。加えて、 ーが絡んだものだと認 の下支えとなってい イクル原料の保管ヤー い。二つの特需が業容 クするが、残りはリサ 在、加工品の一部を運 送業者に1カ所を賃借 の動向は。 たな展伸材に再生) 「アルミ圧延メーカ (アルミ展伸材を新